



# 麒麟獅子

# 例祭の暦

**稲荷社** (いなりしゃ)  
岩美町岩井御湯神社境内  
3月28日に近い日曜

【時間】9時頃 【創始】江戸末期頃  
【特記】御湯神社は神楽獅子舞。朱を基調とする頭が特徴的。岩井温泉区一円を舞う。

因幡 1.D  
011

**稲荷神社** (いなりじんしゃ)  
鳥取市横原宇小原  
3月第二土日

【時間】祭:早朝 【創始】明治7年  
【特記】江戸終期に、ご神体を京都伏見稲荷より授かる。宵宮は公民館、集落内の舞。

因幡 2.A  
006

**大森神社** (おもりじんしゃ)  
鳥取市相生町(四丁目)

【時間】元日10時頃、11時頃 春土曜: 9時頃、20時頃 / 日曜: 9時頃、15時頃  
【創始】江戸期 【特記】鳥取東照宮の舞を習得。一時中断も昭和50年に再開。

因幡 1.B  
001

**塩見神社** (しおみじんしゃ)  
鳥取市福部町前溪  
3月28日に近い日曜

【時間】8時頃 【創始】不明  
【特記】祭礼日直前に「獅子の肥やし」と呼ばれる地元関係者の結団式が行われる。頭は1822年制作。

因幡 1.C  
012

**稲荷神社** (いなりじんしゃ)  
鳥取市国府町岡益  
3月第二日曜

【時間】8時頃 【創始】不明 【特記】現存最古(16世紀頃)の頭が因幡万葉歴史館に展示。鳥取県指定保護文化財。

因幡 2.C  
007

**白兔神社** (はくとじんしゃ)  
鳥取市白兔  
元日1月1日 春4月17日に近い日曜

【時間】元日8時半頃 春6時頃  
【創始】不明 【特記】神話「因幡の白うさぎ」の白兔神を主神とする由緒ある神社に奉納される。

因幡 1.A  
002

**向垣神社** (むこうがきじんしゃ)  
鳥取市福部町左近  
3月最終日曜

【時間】8時頃、18時頃  
【創始】江戸初期  
【特記】座方(太鼓・笛・鉦)が羽織袴の装い。

因幡 1.C  
013

**岡崎神社** (おかざきじんしゃ)  
鳥取市福部町栗谷  
3月15日に近い日曜

【時間】9時頃、16時頃  
【創始】不明  
【特記】狸々による舞は無い。

因幡 1.C  
008

**湊神社** (みなとじんしゃ)  
岩美町岩本  
お肉会1月第二日曜 及びその前日 大祭礼10月 第二日曜前の土日

【時間】お肉会宵宮:19時頃 / 当日:8時頃 大祭礼宵宮:19時頃 / 本祭:7時頃  
【創始】不明 【特記】秋の大祭礼本祭は、各家を門付巡回する。

因幡 1.C  
003

**落磐神社** (おちいわじんしゃ)  
八頭町石田百井  
3月最終土・日

【時間】宵宮:17時頃 / 祭:8時半頃  
【創始】明治初期以前  
【特記】米岡神社・池田弁財天が舞を習得したと云われる。

因幡 2.B  
014

**稲荷社** (いなりしゃ)  
鳥取市松上  
春分の日に近い日曜

【時間】宵宮:20時頃 / 祭:20時頃  
【創始】江戸初期  
【特記】5月(095) 松上神社と同じ。松上集落内各戸で舞う。

因幡 2.A  
009

**服部神社** (はっとりじんしゃ)  
鳥取市服部・野寺  
春3月第一土日 4月28、29日 夏6月第三土日 秋10月第一土日

【時間】宵宮:20時半頃 / 祭:8時半頃  
【創始】不明  
【特記】権現流の鳥取東照宮から舞を習得。夏、秋は宵宮のみ神社で舞う。

因幡 1.B  
004

**玉屋神社** (たまやしんしゃ)  
鳥取市上味野  
春3月最終土・日 秋10月10日

【時間】宵宮:18時頃(集会所)/祭:7時頃  
【創始】江戸中期 【特記】権現流ではあるが、舞は雌獅子舞。初代の頭も現存。現頭は1841年新調。

因幡 1.B  
015

**熊野神社** (くまのじんしゃ)  
岩美町院内  
3月第三日曜

【時間】8時頃  
【創始】明治期以前  
【特記】鉦、太鼓は青い衣装をまとい囃し立てる。

因幡 1.D  
010

**山路神社** (やまじじんしゃ)  
八頭町山路  
3月9日に近い日曜

【時間】10時頃  
【創始】不明  
【特記】昭和中期に中断後、若櫻神社から舞を習得。

因幡 2.C  
005

神社名 じんしゃめい  
例祭地区名  
例祭日 猩々面 しじょうめん  
麒麟獅子頭

神社マップ QRコード  
5分位置  
神社番号

【時間】神社での演舞時間  
【創始】麒麟獅子舞の歴史など  
【特記】舞のルーツや特徴、大祭について、頭の特徴 など

土・日=土曜日と翌日の日曜  
宵宮=前日宵祭、祭=例祭当日、  
時間は24h表記です。  
因幡 但馬

〈写真提供: キリノロジークラブ〉  
※ 019, 025, 032, 033, 047, 084, 085, 103, 105, 133は除く



4月5日に  
近い日曜

久志羅神社  
鳥取市福部町久志羅

【時間】8時半頃、17時半頃  
【創始】不明  
【特記】宇倍神社から舞を習得したとされる。



因幡1.C  
031



4月第一日曜

小羽尾神社  
若美町小羽尾

【時間】8時半頃 【創始】不明  
【特記】静かにゆっくりとした舞の中にダイナミックでメリハリのある動きが特徴的。



因幡1.D  
026



4月  
第一土・日

稲荷神社  
鳥取市国安

【時間】宵宮：第一土曜の19時頃/祭：宵宮後の日曜5時頃 【創始】明治期以前  
【特記】国安・源太地区を舞う。稲荷神社とその氏子宅で舞を披露。



因幡2.B  
021



3月  
最終土・日

美取神社  
若美町太田

【時間】宵宮：19時頃 / 祭：10時頃  
【創始】江戸初期  
【特記】太田・本庄地区を舞う。鳥取東照宮の舞を伝承。



因幡1.C  
016



4月第一日曜

中村神社  
鳥取市福部町中

【時間】10時頃  
【創始】江戸中期頃  
【特記】中・久志羅地区の一部を舞う。



因幡1.C  
032



4月第一日曜

中井神社  
鳥取市河原町中井

【時間】8時頃  
【創始】明治後期以前(百年以上前)  
【特記】鳥取市上砂見から舞を習得。



因幡2.A  
027



4月  
第一土・日

犬山神社  
鳥取市用瀬町宮原(屋住)

【時間】宵宮：20時頃 / 祭：10時頃  
【創始】明治初期以前  
【特記】宇倍神社から舞を習得。



因幡2.B  
022



3月最終日曜

赤子田神社  
鳥取市赤子田

【時間】9時半頃 【創始】江戸後期(1835年) 【特記】大和佐美命神社・倉田八幡宮の伝承。ゆっくりとした舞が特徴的。頭は1836年制作。



因幡2.B  
017



4月8日と  
次の日曜

古市神社  
鳥取市古市

【時間】8日宵宮：20時頃 / 祭：神前なし  
【創始】明治期 【特記】頭は鼻先が短い特徴を持つ。ゆっくりとした舞で、頭が地面を這うように舞う。



因幡1.B  
033



4月第一日曜

二上神社  
若美町若常

【時間】8時頃  
【創始】不明  
【特記】頭は木彫りで重い。村の60軒を一日かけてまわる。



因幡1.D  
028



4月  
第一土・日

松上神社  
鳥取市徳吉

【時間】宵宮：19時頃 / 祭：10時頃、16時頃 【創始】明治中期以前  
【特記】古老の雌麒麟の舞と云われる。頭は1888年制作。



因幡1.B  
023



春3月最終日曜  
夏7月  
最終土・日

下味野神社  
鳥取市下味野

【時間】春8時頃 夏宵宮：21時頃 / 祭：8時頃 【創始】江戸初期  
【特記】鳥取県無形民俗文化財に指定。頭は1843年制作。



因幡1.B  
018



春4月9日に  
近い土・日に  
秋10月9日に  
近い土・日

百先神社  
鳥取市吉成

【時間】宵宮：19時頃 / 祭：7時頃、夕方頃 【創始】江戸中期頃  
【特記】江戸時代、鳥取東照宮へ奉納した獅子舞の一つ。



因幡1.B  
034



4月第一日曜

室神社  
鳥取市国府町神垣

【時間】9時半頃  
【創始】江戸後期以前  
【特記】鳥取東照宮から舞を習得。頭は慶応年間以前の制作。



因幡2.C  
029



4月  
第一土・日

湯山神社  
鳥取市福部町湯山

【時間】宵宮：17時頃 / 祭：8時頃、16時頃  
【創始】江戸中期頃(三百年程前)  
【特記】舞は宇倍神社の流れをくむ。



因幡1.C  
024



3月最終日曜

濱坂神社  
鳥取市浜坂

【時間】神前なし  
【創始】不明  
【特記】宇倍神社から舞を習得。



因幡1.B  
019



4月9日より  
前の日曜

天穂日命神社  
鳥取市福井

【時間】宵宮：19時半頃 / 祭：神前なし  
【創始】不明  
【特記】社歴は867年以前と古く、格式高い。



因幡1.A  
035



4月第一日曜

三谷神社  
鳥取市河原町三谷

【時間】9時頃、13時頃  
【創始】明治初期頃  
【特記】踊り子が、極端に腰をねじり曲げる腰折りを舞う。



因幡2.B  
030



4月第一日曜

宮谷神社  
鳥取市用瀬町別府

【時間】宵宮：19時半頃 / 祭：10時頃  
【創始】明治16年  
【特記】別府地区内の各戸で舞う。



因幡2.B  
025



3月最終日曜

彌長神社  
若美町牧谷

【時間】6時半頃  
【創始】明治後期  
【特記】舞は若美町浦富の獅子舞から習得。朱を基調とする頭が特徴的。



因幡1.D  
020



4月第二日曜

岩美町小田  
小田神社  
おだじんしゃ

【時間】10時頃  
【創始】不明  
【特記】宇倍神社から舞を習得。



因幡1.D  
051



鳥取市古海  
八幡宮  
はちまんぐう

春4月第二日曜  
と前日(宵宮)  
秋9月以降  
十五夜に近い土曜

【時間】20時頃【創始】江戸後期  
(箱に弘化4年の記載有)  
【特記】古い頭が現存。春は古海地区約600軒を舞う。



因幡1.B  
046



鳥取市国府町美歎  
美歎神社  
みたにじんしゃ

4月10・11日

【時間】宵宮:18時頃 / 祭:神前なし  
【創始】昭和前期  
【特記】舞は宇倍神社の流れをくむ。黒を基調とする頭が特徴的。



因幡1.C  
041



鳥取市野坂  
野坂神社  
のさかじんしゃ

4月9日に  
近い土・日

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:7時頃  
【創始】明治初期頃  
【特記】黒を基調とする頭が特徴的。



因幡1.B  
036



4月第二日曜

八頭町池田  
弁財天社・稻荷社  
べんさいてんしゃ  
いなりしゃ

【時間】7時頃【創始】明治中期以前  
【特記】遅々の舞は八頭町石田百井地区から習得。池田弁財天、稻荷大明神とも呼ばれる。



因幡2.B  
052



鳥取市福部町蔵見  
伊蘇乃佐只神社  
いそのさきじんしゃ

4月第二土・日

【時間】宵宮:20時頃 / 祭:7時頃、16時頃【創始】明治中期  
【特記】舞は宇倍神社の流れをくむが、囃子・舞ともに軽快で動きが大きい。



因幡2.C  
047



鳥取市福部町蔵見  
武王神社  
たけみことじんしゃ

4月11日に  
近い土・日

【時間】宵宮:18時頃 / 祭:6時頃、17時頃  
【創始】江戸前期【特記】えんじ一色の獅子頭と観衆の掛声「チャーフケ」が特徴的。



因幡1.C  
042



鳥取市岩倉  
美幣奴神社  
みでくらすじんしゃ

4月9日より  
手前の日曜

【時間】宵宮:18時頃 / 祭:8時頃、17時頃  
【創始】江戸後期頃(二百年程前)  
【特記】宇倍神社から舞を習得。



因幡2.C  
037



春4月第二日曜  
秋10月第二日曜

八頭町才代  
澤神社  
さわじんしゃ

【時間】11時頃  
【創始】江戸中期以前【特記】蚊帳に小さな御幣を沢山付けて舞う。鳥取県無形民俗文化財に指定。



因幡2.C  
053



鳥取市田島  
萬田神社  
まんだじんしゃ

4月第二土・日

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:8時頃  
【創始】不明  
【特記】鳥取東照宮の舞から伝承したと云われる。



因幡1.B  
048



鳥取市気高町宝木  
母木神社  
ははきじんしゃ

4月13日の  
前の日曜

【時間】祭礼日前日:7時頃 / 祭礼日当日10時頃【創始】不明【特記】口元の髷と黒目がなく目尻が縁取られた頭が特徴的。2日間にわたり各戸をまわる。



因幡1.A  
043



鳥取市岩倉  
高宮神社  
たかみやじんしゃ

4月9日に  
近い土・日

【時間】宵宮:19時半頃 / 祭:7時半頃  
【創始】不明  
【特記】舞は宇倍神社の流れをくむ。



因幡1.C  
038



4月第二日曜

岩美町高山字広岡  
廣岡神社  
ひろおかじんしゃ

【時間】9時頃  
【創始】不明  
【特記】広岡地区の各戸を1軒1軒舞う。



因幡1.D  
054



鳥取市河原町高福  
黒木神社  
くろきじんしゃ

4月第二土・日

【時間】宵宮:20時頃 / 祭:7時頃  
【創始】数百年前【特記】高福・高津原地区を舞う。鳥取市上砂見から舞を習得。黒を基調とする頭が特徴的。



因幡2.B  
049



鳥取市浜坂  
濱坂神社  
はまさかじんしゃ

春4月14日に  
近い日曜  
秋10月14日に  
近い日曜

【時間】神前なし  
【創始】明治末期  
【特記】5年ごとに大祭がある。宇倍神社から舞を習得。



因幡1.B  
044



八頭町大坪  
諸木神社  
もろきじんしゃ

4月9日の  
前の直近の日曜

【時間】8時半頃  
【創始】不明  
【特記】私都(きさいち)神社とも呼ばれる。



因幡2.C  
039



4月15日の  
前の土・日

八頭町市場  
市場神社  
いちばじんしゃ

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:8時頃  
【創始】明治初期  
【特記】イベント等に参加する子ども獅子もある。(現在は活動停止中)



因幡2.C  
055



鳥取市上原  
上原神社  
うえはらじんしゃ

春4月第二日曜  
秋10月第二日曜

【時間】8時頃  
【創始】不明 ※社歴1801年  
【特記】古くは今宮大明神と称し、明治元年、上原神社と改称。



因幡1.A  
050



鳥取市秋里  
荒木三嶋神社  
あらかみしまじんしゃ

4月14日に  
近い日曜

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:19時頃  
【創始】江戸中期以前【特記】権現流の鳥取東照宮から伝承。4年ごとに大祭がある。利尻の麒麟獅子舞と交流がある。



因幡1.B  
045



鳥取市西今在家  
今在家神社  
いまざいけんじんしゃ

4月10日に  
近い日曜

【時間】7時頃  
【創始】不明  
【特記】鳥取東照宮から舞を習得。



因幡1.B  
040



4月21日の  
前の日曜  
鳥取市桂見(東桂見)  
**桂尾神社**  
かづらおじんじや

【時間】宵宮:祭礼日前日20時頃 / 祭:9時頃 【創始】不明 【特記】本舞は本殿を背にして始まる。舞の習得は大野見宿禰神社説と聖神社説がある。



因幡1.B  
071



4月19日の  
前の日曜  
鳥取市河原町釜口  
**釜口神社**  
かまぐちじんじや

【時間】7時頃  
【創始】明治中期  
【特記】釜口・六日市地区を舞う。聖神社から舞を習得。



因幡2.B  
066



4月18日に  
近い土・日  
鳥取市晩稲  
**波津神社**  
はつじんじや

【時間】宵宮:18時頃 / 祭:11時頃  
【創始】江戸後期 【特記】鳥取東照宮の舞から伝承したと云われる。毛のある眉、長い角、平らな鼻など個性的な獅子頭。



因幡1.B  
061



あめのひなごりのみことじんじや  
鳥取市大畑  
4月15日の  
前の日曜  
**天日名鳥命神社**

【時間】8時頃  
【創始】明治期  
【特記】大畑・堤地区を舞う。頭は1878年制作。



因幡1.A  
056



4月21日の  
前の日曜  
鳥取市桂見(西桂見)  
**倉見神社**  
くらみじんじや

【時間】10時頃  
【創始】江戸末期頃  
【特記】鳥取東照宮の子ども頭を譲り受けたと云われる。



因幡1.B  
072



4月19日に  
近い日曜  
鳥取市有富  
**大森神社**  
おおもりじんじや

【時間】9時頃 【創始】昭和30年頃  
【特記】京都の獅子頭を支度。高路神社から舞を習得。威風堂々とした舞が特徴的。



因幡1.B  
067



4月18日に  
近い土・日  
鳥取市伏野  
**伏野神社**  
ふしのじんじや

【時間】宵宮:早朝/祭:10時頃  
【創始】不明  
【特記】伏野・中ノ茶屋地区を舞う。3年に一度大祭がある。



因幡1.B  
062



よしわらじんじや  
鳥取市円護寺  
4月15日の  
前の日曜  
**葭原神社**

【時間】9時頃  
【創始】百年以上前  
【特記】舞は宇倍神社の流れをくむ。頭は1897年制作。



因幡1.C  
057



4月  
第三土・日  
八頭町米岡  
**米岡神社**  
よねおかじんじや

【時間】宵宮:8時頃 / 祭:18時頃  
【創始】明治中期  
【特記】黒を基調とする頭が特徴的。



因幡2.B  
073



4月20・21日と  
4月21日に  
近い日曜  
鳥取市国府町宮下  
**宇倍神社**  
うべじんじや

【時間】宵宮:20時頃 / 祭:10時頃  
【創始】江戸初期(1650年頃)  
【特記】神社は648年創建の因幡一の宮。鳥取県無形民俗文化財に指定。



因幡1.C  
068



4月19日に  
近い日曜  
八頭町延命寺  
**貴布禰神社**  
きぶねじんじや

【時間】8時頃  
【創始】江戸後期(約二百年前)  
【特記】舞手、座方全員が赤の衣装をまとう。朱を基調とする頭が特徴的。



因幡2.C  
063



あじろじんじや  
若美町網代  
春4月15日に  
近い土・日  
秋9月14・15日  
**網代神社**

【時間】宵宮:神前なし / 祭:18時頃  
【創始】不明  
【特記】網代地区を一軒一軒舞う。



因幡1.C  
058



4月  
第三日曜  
若美町大羽尾  
**大羽尾神社**  
おおばねおじんじや

【時間】15時半頃  
【創始】不明  
【特記】伊勢神宮に獅子舞を奉納したこともある。



因幡1.D  
074



4月20日に  
近い日曜  
鳥取市金沢・松原  
**末松神社**  
すえまつじんじや

【時間】6時頃  
【創始】江戸中期  
【特記】金沢・松原地区を舞う。宇倍神社から舞を習得。



因幡1.A  
069



4月19日に  
近い日曜  
鳥取市高路  
**高路神社**  
こうろじんじや

【時間】8時頃  
【創始】不明  
【特記】神社奉納後、高路新田から順に氏子宅を舞う。



因幡2.A  
064



ひのじんじや  
若美町大谷  
春4月15日に  
近い土・日  
秋9月15日に  
近い日曜  
**日野神社**

【時間】宵宮:14時頃 / 祭:8時頃  
【創始】明治期 【特記】県内でも珍しい雌獅子2頭所有。春の祭は東西に分かれて舞う。低い姿勢が特徴。



因幡1.C  
059



4月  
第三日曜  
鳥取市用瀬町鷹狩  
**鷹狩神社**  
たかがりじんじや

【時間】7時頃  
【創始】明治中期  
【特記】舞は聖神社の流れをくむ。



因幡2.B  
075



4月20日の  
前の日曜  
鳥取市長柄  
**長柄神社**  
ながばらじんじや

【時間】9時頃 【創始】明治後期  
【特記】末松神社から舞を習得。例祭前日の日曜に神前で舞った後、氏子をまわる。



因幡1.A  
070



4月19日に  
近い日曜  
鳥取市福部町細川  
**細川神社**  
ほそかわじんじや

【時間】7時頃、20時頃  
【創始】不明  
【特記】聖神社から舞を習得したと云われる。



因幡1.C  
065



しやうぶじんじや  
鳥取市菖蒲  
4月18日  
(に近い土・日)  
**菖蒲神社**

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:7時頃  
【創始】不明 【特記】舞は聖神社の流れをくむ。頭は1881年制作。宵宮は集会所で舞う。



因幡1.B  
060



5月2・3日

東井神社  
鳥取市用瀬町用瀬

【時間】宵宮：19時頃(三角山神社参道入口)、20時半頃 / 祭：10時半頃  
【創始】江戸後期以前 【特記】舞は宇倍神社の流れをくむ。頭は1828年制作。



因幡 2.B  
091



4月28・29日

上小路神社  
鳥取市賀露町南

【時間】宵宮：17時頃 / 祭：10時頃  
【創始】室町期 【特記】3年に一度、大祭があり、町内の御旅所や小学校でも舞われる。頭は江戸中期制作。



因幡 1.B  
086



4月25日の前日曜

北野神社  
鳥取市高住

【時間】8時頃  
【創始】不明  
【特記】3年に1度大祭があったが現在は行われていない。



因幡 1.B  
081



4月第三日曜

秋葉神社  
新温泉町千谷

【時間】8時半頃 【創始】江戸末期  
【特記】9月(11)三宝荒神社と同じ。狸々の鉢巻、脇差が特徴的。頭は1892年作。



但馬 1.E  
076



5月2・3日

安長神社  
鳥取市安長

【時間】宵宮：19時頃 / 祭：10時頃  
【創始】明治初期  
【特記】鳥取東照宮の舞から伝承したと云われる。頭は1873年制作。



因幡 1.B  
092



4月28・29日

賀露神社  
鳥取市賀露町北

【時間】宵宮：19時頃 / 祭：12時頃  
【創始】不明 【特記】2年に一度、ホーエンヤ祭と呼ばれる大祭で、町内が賑わう。鳥取県無形民俗文化財指定。



因幡 1.B  
087



4月25日に近い日曜

北野神社  
鳥取市河原町天神原

【時間】8時頃、18時頃  
【創始】不明  
【特記】宇倍神社から舞を習得。頭は1887年制作。



因幡 2.A  
082



春4月22日の前日曜  
秋10月22日の前日曜

吉岡神社  
鳥取市吉岡温泉町

【時間】宵宮：19時頃 / 祭：7時頃  
【創始】江戸後期以前 【特記】聖神社からの舞を基本に、吉岡神社独自の舞となった。



因幡 1.A  
077



5月2・3日

若桜神社  
若桜町若桜

【時間】宵宮：神前なし / 祭：9時頃  
【創始】江戸初期(1659年)  
【特記】宇倍神社から舞を習得。



因幡 3.C  
093



4月28・29日

眞幡木神社  
鳥取市円通寺

【時間】宵宮：28日20時頃 / 祭：29日7時頃  
【創始】江戸後期(文久2年) 【特記】鳥取東照宮伝承。権現流の饅頭子。頭は1862年の制作(松材)。三円通寺(円通寺、上円通寺、西円通寺)を舞う。



因幡 2.B  
088



4月25日に近い土・日

推谷神社  
鳥取市覚寺

【時間】宵宮：19時頃 / 祭：9時頃  
【創始】江戸後期以前  
【特記】舞は鳥取東照宮の流れをくむ。映画「妖怪大戦争」ロケ地。



因幡 1.C  
083



春4月22日の前日曜  
秋10月22日の前日曜

江津神社  
鳥取市江津

【時間】7時半頃(神社)、13時半頃(公民館)  
【創始】不明 【特記】舞は鳥取東照宮の流れをくむ権現流。優美な動きが特徴的。頭は1805年制作。



因幡 1.B  
078



5月3日

畠崎神社  
鳥取市里仁(東里仁)

【時間】8時半頃  
【創始】不明  
【特記】東里仁地区を舞う。



因幡 1.B  
094



4月28・29日

樋口神社  
鳥取市河原町河原

【時間】宵宮：19時頃 / 祭：10時半頃、17時半頃  
【創始】不明 【特記】舞は宇倍神社の流れをくむ。本舞は約40分。動きに派手さはなく、ゆっくりとした舞が特徴。



因幡 2.B  
089



4月27・28・29日

湯所神社  
鳥取市湯所町

【時間】宵宮：27日19時頃(神社) / 祭：29日9時頃(各戸)  
【創始】江戸中期(天明8年) 【特記】制作年が明確な頭の中で最古。平成7年約40年ぶりに復活。28日は祭りのみ。頭は1788年制作。



因幡 1.C  
084



4月22日の前日曜

白地神社  
岩美町白地

【時間】8時頃  
【創始】不明  
【特記】濃赤色の頭が特徴的。



因幡 1.D  
079



5月3日

松上神社  
鳥取市松上

【時間】14時頃  
【創始】江戸初期  
【特記】3月(009)稲荷社と同じ。春の例大祭で奉納舞を行う。



因幡 2.A  
095



4月29日

三津神社  
鳥取市三津

【時間】6時頃  
【創始】不明  
【特記】舞は福井神社の流れをくむ。



因幡 1.B  
090



4月28日(28日が日曜でない場合、前日曜)

三山神社  
鳥取市三山口

【時間】宵宮：19時半頃 / 祭：8時半頃  
【創始】不明  
【特記】聖神社の獅子舞から伝承したと云われる。



因幡 1.A  
085



4月22日の前日曜

服部神社  
鳥取市福部町海士

【時間】早朝、正午、夕方  
【創始】不明  
【特記】八幡宮(古海)から舞を習得。



因幡 1.C  
080



9月19日  
新温泉町千谷  
三宝荒神社  
さんぼうこうじんじや

【時間】8時半頃  
【創始】江戸末期  
【特記】4月(076)秋葉神社と同じ。猩々の鉢巻、唇差が特徴的。頭は1892年作。



但馬 T.E 111



7月17日に近い土・日  
鳥取市福都町若戸  
岩戸神社  
いわどじんじや

【時間】宵宮:16時頃/祭:8時頃、17時頃  
【創始】昭和初期以前 【特記】神社では比較的緩やかな動きで40分程度舞う。海での安全等を祈願した「お船」の随行も行われる。



因幡 1.C 106



5月第二土・日  
鳥取市立川町(五丁目)  
稲葉神社  
いなばじんじや

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:8時頃  
【創始】不明 【特記】5丁目を舞う。4年に一度大祭がある。頭は江戸時代制作の雌獅子。



因幡 1.C 101



5月5日  
鳥取市里仁(西里仁)  
甲山神社  
かぶとやまじんじや

【時間】8時半頃  
【創始】不明  
【特記】聖神社の舞を伝承。頭は昭和28年に京都で新しく制作。



因幡 1.B 096



9月28日  
新温泉町福富  
三柱神社  
みはしらじんじや

【時間】10時頃、17時頃  
【創始】江戸中期  
【特記】明治後期に宇都野神社から頭を譲り受けたとされる。



但馬 T.E 112



5月23日に近い土・日  
鳥取市立川町(二丁目)  
稻荷神社  
いなりじんじや

【時間】9時半頃 【創始】江戸期  
【特記】頭は2頭あり、1つは文化13年(1816年)に制作。2019年は7月20日に宵宮、21日に本祭を行う。



因幡 1.D 107



5月23日に近い土・日  
鳥取市立川町(二丁目)  
稻荷神社  
いなりじんじや

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:19時半頃  
【創始】不明 【特記】1~4丁目を舞う。4年に一度、大祭があり例祭と舞う時間が異なる。頭は江戸時代制作。



因幡 1.C 102



5月5日  
鳥取市雲山  
雲山八幡宮  
くもやまはちまんぐう

【時間】6時頃、16時頃  
【創始】明治後期(約百年前)  
【特記】鳥取東照宮から舞を習得。初代の頭が現存。



因幡 1.C 097



9月29日  
新温泉町七釜  
山宮神社  
やまみやじんじや

【時間】9時頃、20時半頃  
【創始】不明  
【特記】茶色の獅子頭が特徴的。



但馬 T.E 113



夏(川下祭り)7月第三日曜の前日  
秋10月8日  
新温泉町浜坂  
宇都野神社  
うつのじんじや

【時間】7時頃、19時頃  
【創始】江戸中期 【特記】兵庫県重要無形民俗文化財に指定。頭は1817年制作。初代頭が現存。



但馬 T.E 108



5月23日に近い土・日  
鳥取市立川町(三丁目)  
稻荷神社  
いなりじんじや

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:19時半頃  
【創始】不明  
【特記】3丁目を舞う。4年に一度、大祭がある。頭は明治時代制作。



因幡 1.C 103



5月5日  
鳥取市布勢  
日吉神社  
ひえじんじや

【時間】6時頃、16時頃  
【創始】不明  
【特記】鳥取東照宮の舞から伝承したと云われる。



因幡 1.B 098



9月29日に近い土・日  
鳥取市河原町片山  
片山神社  
かたやまじんじや

【時間】宵宮:19時~21時頃(神社:20時頃、21時頃) 祭:7時~16時頃(神社:8時頃、16時頃)  
【創始】明治初期 【特記】雲石山や集落内に祀られる各宮でも舞われる。頭は1882年制作。



因幡 2.B 114



夏7月第三日曜 秋10月10日に近い土・日  
鳥取市湖山町北(茶屋)  
小八幡宮  
こはちまんぐう

【時間】祭:18時頃(宵宮なし)  
【創始】明治中期  
【特記】10月(126)湖山神社と同じ。頭は1890年制作。舞は宇倍神社に習う。



因幡 1.B 109



晩春5月第三土・日 秋9月18日  
鳥取市行徳(宮元)  
聖神社  
ひじりんじや

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:10時半頃(院春のみ)  
【創始】江戸中期(1778年)  
【特記】5月(100)品治神社と同じ。隔年の大祭は、夕方に舞われる。



因幡 1.B 104



5月10・11日  
鳥取市栗谷町(吉方温泉4丁目)  
栗溪神社  
くりたにじんじや

【時間】19時頃(10日)  
【創始】江戸初期  
【特記】鳥取東照宮の舞から伝承したと云われる。頭は1831年以前制作。



因幡 1.C 099



9月最終土・日  
鳥取市河原町袋河原  
袋河原神社  
ふくろがわらじんじや

【時間】宵宮:17時頃 / 祭:午前中  
【創始】不明  
【特記】頭は1863年制作。



因幡 2.B 115



7月24・25日  
鳥取市天神町  
北野神社  
きたのじんじや

【時間】宵宮:20時頃 / 祭:16時頃  
【創始】昭和初期(1936年)  
【特記】天神町・扇町・富安地区を舞う。舞は聖神社の流れをくむ。

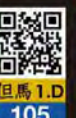


因幡 1.B 110



7月14・15日  
新温泉町諸寄  
為世永神社  
いよながじんじや

【時間】宵宮(14日):夕方(御旅所) / 祭(15日):夕方  
【創始】不明  
【特記】神前では二頭で舞う。



但馬 1.D 105



5月12日  
鳥取市南町  
品治神社  
ほんじじんじや

【時間】宵宮:19時頃 / 祭:大祭時のみ  
【創始】江戸中期(1778年)  
【特記】5月(104)聖神社と同じ。



因幡 1.B 100



10月第二日曜  
鳥取市河原町山上  
**山大神社**  
やまがみじんじや

【時間】10時頃 【創始】不明  
【特記】鳥取市中砂見大湯棚地区の舞を習得。頭は1889年制作。獅子舞同好会「リンキーズ」として活動中。



因幡2.A  
131



10月10日に近い土・日  
鳥取市湖山町  
**湖山神社**  
こやまじんじや

【時間】宵宮:土曜9時頃/祭:日曜19時頃  
【創始】明治中期 【特記】7月(109)小八幡宮と同じ。頭は1890年制作。宇倍神社に舞を習う。茶屋区を舞う。



因幡1.B  
126



10月第一日曜  
鳥取市河原町小畑  
**小畑神社**  
おばたじんじや

【時間】9時頃、12時頃  
【創始】明治中期以前 【特記】区長宅で1回舞い、集落内にある4つの班の各1戸のみで1回舞う。



因幡2.A  
121



10月1日に近い土曜  
鳥取市河原町本虎  
**多加牟久神社**  
たかむくじんじや

【時間】17時頃  
【創始】不明  
【特記】ゆったりと力強く舞われる。



因幡2.A  
116



10月第二日曜  
智頭町芦津  
**芦津神社**  
あしひらじんじや

【時間】11時頃  
【創始】大正中期  
【特記】10月(142)垂井神社と同じ。宇倍神社に舞を習う。



因幡3.C  
132



10月10日に近い土・日  
鳥取市湖山町南(五丁目)  
**松高神社**  
まつたかじんじや

【時間】土曜:13時頃、日曜:17時頃  
【創始】明治中期(約130年前)  
【特記】新田、塔ノ角、大寺屋、堀越、砂丘地区を舞う。舞は聖神社・宇倍神社に習う。



因幡1.B  
127



10月第一日曜  
鳥取市河原町佐貫  
**都波只知上神社**  
つばさじんじや

【時間】早朝  
【創始】不明  
【特記】佐貫、八日市の集落各戸で舞われる。



因幡2.B  
122



10月3日  
新温泉町和田  
**八柱神社**  
やはしらいじんじや

【時間】10時頃、18時頃  
【創始】不明  
【特記】現在の獅子頭は明治24年に新調したものとされる。



但馬1.E  
117



10月第二日曜  
智頭町芦津  
**芦津神社**  
あしひらじんじや

【時間】11時頃 【創始】大正中期  
【特記】垂井神社の奉納舞を取り入れる。10月28日が土日の場合、垂井神社の例祭でも舞う。



因幡3.C  
133



10月第二土曜  
鳥取市用瀬町鷹狩(旭ヶ丘)  
**旭ヶ丘神社**  
あさひがおかじんじや

【時間】8時半頃、15時頃  
【創始】明治初期  
【特記】用瀬の東井神社から舞を習得。



因幡2.B  
128



10月9日の前の土・日  
鳥取市河原町布袋  
**荒御崎神社**  
あらいみさきじんじや

【時間】宵宮:19時頃/祭:6時頃、15時頃  
【創始】江戸後期以前  
【特記】宇倍神社から舞を習得。頭は1839年制作。



因幡2.B  
123



10月5日  
香美町香住区鑑  
**十二社神社**  
じゅうにしやじんじや

【時間】神前なし(13時40分頃~鑑の浜)  
【創始】明治後期(1912年)  
【特記】3本弊の細縄を巻く黒い頭と鬼面の狸々が特徴的。舞は若美町より伝承。



但馬1.F  
118



10月体育の日の前の土・日  
鳥取市河原町長瀬  
**長瀬神社**  
ながせじんじや

【時間】日曜の7時頃、11時半頃  
【創始】不明  
【特記】午前中をかけて、3か所(3回)舞う。



因幡2.A  
134



10月第二土曜  
智頭町大背  
**那岐神社**  
なぎじんじや

【時間】8時頃、14時頃  
【創始】昭和中期  
【特記】神楽・麒麟二体の獅子がある。薄緑の蚊帳が特徴的。



因幡3.A  
129



10月9日  
新温泉町居組  
**大歳神社**  
おとしじんじや

【時間】7時頃、19時頃  
【創始】江戸中期  
【特記】兵庫県重要無形民俗文化財に指定。



但馬1.D  
124



10月第一土曜  
鳥取市用瀬町赤波  
**赤波神社**  
あがなみじんじや

【時間】7時半頃  
【創始】明治中期以前  
【特記】舞は東井神社の流れをくむ。神社奉納後、各戸をまわる。



因幡2.B  
119



10月体育の日(月曜日の祝日)  
鳥取市河原町谷一木  
**久多美神社**  
くすなみじんじや

【時間】6時頃 【創始】不明  
【特記】最初に狸々が舞を披露し、その後獅子と一緒に舞う。比較的時間の長い舞。



因幡2.A  
135



10月第二日曜  
新温泉町枅谷  
**巖島神社**  
いづしまじんじや

【時間】8時半頃、17時頃  
【創始】不明  
【特記】枅谷、田君地区の氏子宅1軒1軒をまわる。



但馬1.E  
130



10月9日  
新温泉町三尾  
**八柱神社**  
やはしらいじんじや

【時間】9時頃、18時頃  
【創始】江戸中期  
【特記】兵庫県重要無形民俗文化財に指定。



但馬1.E  
125



10月第一日曜  
鳥取市河原町曳田  
**賣沼神社**  
めぬまじんじや

【時間】7時頃、18時頃 【創始】不明  
【特記】曳田・諏訪・引野地区を舞う。舞はゆったりとした動きが特徴で、宇倍神社から習得したと云われる。



因幡2.B  
120

牛戸神社  
うしのとじんじや  
鳥取市河原町牛戸

10月体育の日  
(月曜日の祝日)



【時間】8時半頃  
【創始】明治中期以前  
【特記】権現流だが、稱役が獅子を追う演出が特徴的。



因幡2A  
136

大和佐美命神社  
おおわさみのみことじんじや  
鳥取市中砂見(大湯棚)

10月第二日曜



【時間】9時頃 ※(139)(140)両方で舞う  
【創始】江戸後期以前 【特記】鳥取県無形民俗文化財に指定。5年に一度大祭がある。1660年頃制作の頭は鳥取県指定保護文化財。



因幡2A  
139

弓河内神社  
ゆみごうちじんじや  
鳥取市河原町弓河内

10月第二日曜



【時間】8時頃、18時頃 【創始】不明  
【特記】神社で本神楽を舞った後、全戸で4単神楽を舞い、最後に神社に戻り本神楽を舞って終わる。



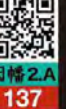
因幡2A  
141

小倉神社  
おぐらじんじや  
鳥取市河原町小倉

10月の体育の日  
の前日



【時間】8時頃  
【創始】明治後期以前(百年以上前)  
【特記】一時中断も用瀬から舞を習い、復活。



因幡2A  
137

大和佐美命神社  
おおわさみのみことじんじや  
鳥取市上砂見

10月第二日曜



【時間】9時頃 ※(139)(140)両方で舞う  
【創始】不明 【特記】鳥取県無形民俗文化財に指定。5年に一度大祭がある。獅子が剣を持って舞う特徴的な舞がある。



因幡2A  
140

蛭井神社  
むしいじんじや  
智頭町大呂

10月28日



【時間】11時頃  
【創始】大正中期 【特記】10月(132)芦津神社と同じ。宇倍神社に舞を習う。鳥取県無形民俗文化財に指定。



因幡3C  
142

甘露神社  
かんろじんじや  
岩美町陸上

10月第二日曜



【時間】7時半頃 【創始】不明  
【特記】陸上地区の一軒一軒を1日かけてまわり、玄関先で舞う。本舞は神社、海、公民館等で舞う。



因幡1.D  
138

〈凡例〉

麒麟獅子頭	例祭日 狸々面	神社名 神社地区名	神社マップ QRコード マップ位置 神社番号
【時間】神社での演舞時間 【創始】麒麟獅子舞の歴史など 【特記】舞のルーツや特徴、大祭について、頭の特徴 など			

土・日=土曜日と翌日の日曜  
宵宮=前日宵祭、祭=例祭当日、  
時間は24h表記です。  
因幡 ■ 但馬 ■

因幡鳥取藩鳥取城下町  
「鳥取市中心市街地」

# 麒麟獅子ゆかりの地を巡る

鳥取藩主池田家墓所周辺ほか「国府町ほか」

新温泉町「浜坂」  
香美町「香住区余部」







鳥取東照宮

元祖麒麟獅子(鳥取県立博物館蔵)が伝わる、池田光仲が建立した日光東照宮の分院。10月の権現祭では、因幡麒麟獅子舞の会による麒麟獅子舞が奉納されるほか、神輿行列も出て賑わいます。

207

【問】鳥取市観光案内所  
TEL 0857-22-3318



鳥取城跡「旧藩主池田家別邸(仁風閣)」

皇太子嘉仁親王(後の大正天皇)の山陰行啓宿泊施設として、鳥取城内に建てた仁風閣は国指定の重要文化財。池田家に関する展示も豊富です。【入館料】大人150円(高校生以下・65才以上無料)【休館日】月曜(祝祭日の場合翌平日)・年末年始

205

【問】仁風閣・宝扇庵  
TEL 0857-26-3595



智頭街道商店街「麒麟獅子灯籠ギャラリー」

鳥取駅前から、鳥取城跡へ続く智頭街道商店街沿いには、鳥取の工芸品の展示ショーケース灯籠が並びます。屋根に装飾された白磁の麒麟獅子頭や胴の風紋柄のタイルは、若美町の窯元浦富焼き故山下碩夫氏の作陶。

203

【問】鳥取市観光案内所  
TEL 0857-22-3318



一日乗車券

200 鳥取市周辺観光地を巡る「ループ麒麟獅子」バス

【運行日】土・日・祝日(元日は除く)・振替休日・夏季(8/1~8/31)  
【料金】1回乗車:大人(中学生以上)300円/小人(小学生)150円  
※大人1人につき幼児1人:無料 幼児2人目から:150円  
各種障がい者手帳をお持ちの方およびその介護者:150円

一日乗車券/600円(一律料金・何度でも乗降できます)  
※発売場所:鳥取市観光案内所、鳥取駅前バスターミナル、バス車内



202 鳥取市国際観光物産センター まちバル鳥取 麒麟獅子砂像



201 鳥取市北口風紋広場横 モニュメント 背中に乗って記念撮影もできます。



鳥取駅前商店街 木製ベンチ まちバル鳥取から鳥取駅までに点在。

【問】鳥取市観光案内所  
TEL 0857-22-3318

(HP) <http://www.torican.jp/>



鳥取市歴史博物館「やまびこ館」

鳥取東照宮の参道にある博物館。江戸時代の鳥取城下町や藩主池田家について見ることができ、麒麟獅子に関する資料も収蔵しています。【入館料】一般300円(特別展は別途) ※高校生以下と65歳以上は無料【休館日】月曜(祝祭日の場合翌平日)・年末年始

208

【問】鳥取市歴史博物館やまびこ館  
TEL 0857-23-2140



鳥取城跡「鳥取県立博物館」

仁風閣向かいの博物館。麒麟獅子舞の常設展示のほか、池田家に関する展示も充実し、麒麟獅子グッズ販売もあります。【常設入館料】個人180円(児童・生徒・学生を除く)【休館日】月曜(祝祭日の場合翌平日)・祝祭日の翌日・年末年始

206

【問】鳥取県立博物館  
TEL 0857-26-8042



若桜街道商店街「片原通り」

鳥取駅から鳥取県庁へ続く若桜街道に交差する片原通りに、江戸中期頃より子どもの守護神として信仰を集めた片原荒神があり、かつて使われていた子どもの麒麟獅子舞の頭が、拝殿に展示され、神職がいれば、観覧することもできます。

204

【問】鳥取市観光案内所  
TEL 0857-22-3318



道の駅 清流茶屋かわはら

とっとり土産が全部揃う因幡と山陽をつなぐ鳥取市の窓口。お土産売り場には、鳥取駅前の麒麟獅子ベンチを制作した上島氏制作の麒麟獅子頭があります。

213

【問】道の駅 清流茶屋かわはら  
TEL 0858-85-5331



お城山展望台 河原城

秀吉が鳥取城攻略で布陣した山にある展望台。麒麟獅子頭などの展示があります。【入館料】一般250円(高校生以下・65歳以上障がい者など無料)【休館日】月曜(祝祭日の場合翌平日)・年末年始

212

【問】河原城  
TEL 0858-85-0046

### 美しき山里へ



因幡万葉歴史館「麒麟獅子頭の展示」

万葉歌人大伴家持や、因幡地方の歴史文化の展示のほか、現存する最古の麒麟獅子頭や各地の貴重な古い麒麟獅子頭など、麒麟獅子の歴史とルーツを紹介する展示コーナーがあります。【観覧料】一般300円 ※高校生以下と65歳以上は無料【休館日】月曜(祝祭日の場合翌平日)・祝祭日翌平日・年末年始

211

【問】因幡万葉歴史館  
TEL 0857-26-1780



因幡一の宮 宇倍神社「例大祭と御幸祭・展示など」

鳥取藩主池田家墓所からすぐの宇倍神社。4月の御幸祭では、麒麟獅子舞、全国屈指の大神輿、武者行列、鳥取藩参勤交代の姿を伝える奴の舞などで盛り上がります。例祭当日以外でも、実物の麒麟獅子と狸々の展示ディスプレイ、麒麟獅子の絵馬やお守りなどもあり、貴重な麒麟獅子体験ができます。

210

【問】因幡一の宮 宇倍神社  
TEL 0857-22-5025



鳥取藩主 池田家墓所「霊獣玄武の墓碑台石と燈籠会」

初代藩主池田光仲以後の歴代藩主とその夫人、御分知家当主等が眠る墓所。藩主の墓碑は玉石垣を巡らせた、亀跌(きふ)という霊獣玄武を模した台石に墓碑を乗せた「亀跌円頭」と呼ばれる立派なもので、霊獣麒麟を泰平の世の象徴とした思想の片鱗が感じられます。毎年10月頃の夜に行われる燈籠会では、幽玄な麒麟獅子舞が奉納されます。

209

【問】公史跡鳥取藩主 池田家墓所保存会  
TEL 0857-26-7760



鳥取市河原町本館

因幡エリアの各地の集落の道路沿いに掲示されている、集落名を記した標識には、その地区の麒麟獅子をデザインしたものがああります。このほかにもあるかもしれません。ぜひ探してみてください。

215



鳥取市野坂

因幡エリアの各地の集落の道路沿いに掲示されている、集落名を記した標識には、その地区の麒麟獅子をデザインしたものがああります。このほかにもあるかもしれません。ぜひ探してみてください。

214

### 番外編



余部鉄橋「空の駅」公園

最寄の館地区の十二社神社に伝わる麒麟獅子は、明治後期に余部鉄橋開通記念で舞われた若美町の麒麟獅子が起源です。現在の余部鉄橋「空の駅」、余部クリスタルタワー、たもと公園では、子ども達が描いた麒麟獅子の絵を見ることができ、隣接する道の駅も賑わいます。【利用料】無料

219

【問】香美町香住観光協会  
TEL 0796-36-1234



新温泉町麒麟獅子マラソン大会

毎年5月に新温泉町主催で麒麟獅子マラソンが、JR浜坂駅前の浜坂北小学校を起点に開催されます。海山を駆け抜ける絶景コースで、浜坂・七釜・湯村の温泉無料入浴券や地元の山海の幸豊かな軽食の振舞いや、浜坂北小学校グラウンドで宇都野神社の麒麟獅子舞が奉納されるなど、多くの参加者と観覧者で大変賑わいます。

218

【問】麒麟獅子マラソン大会実行委員会事務局  
TEL 0796-82-4512



浜坂先人記念館「以命亭」

近世より酒造業を営んでいた森家・七釜屋屋敷(国の登録有形文化財)を改修したもので、新温泉町に所蔵のある時代をさきかけた先人たちの足跡を辿ることができる郷土の歴史民俗資料館です。館内には町指定文化財の宇都野神社の獅子頭が展示されています。【入館料】大人200円 小人100円【休館日】月曜(祝祭日の場合翌平日)・年末年始

217

【問】新温泉町立 浜坂先人記念館「以命亭」  
TEL 0796-82-4490



宇都野神社

JR浜坂駅から徒歩12分。宇都野の森の古社で、毎年7月の例祭と10月の秋祭りでは麒麟獅子舞が神前に奉納され、地区内各戸をまわります。夏の例祭の「川下祭り」は、但馬三大祭りの一つで、毎年多くの人で賑わいます。兵庫県重要無形民俗文化財に指定された時に、境内に麒麟獅子のブロンズ像が奉納されました。

216

【問】宇都野神社 社務所  
TEL 0796-82-1347

# 因幡・但馬を中心に 今に息づく麒麟獅子

鳥取藩主・池田光仲が、慶安3年(1650年)に鳥取の橋筋(きょうすだ)に日光東照宮の御神霊を祀る鳥取東照宮を建立し、承応元年(1652年)に、その祭礼の行列に麒麟獅子舞を登場させたのが始まりと考えられています。

麒麟は、優れた政治を行うとその徳を慕って出現するとされる中国の想像上の動物です。祭礼行列で登場する神楽獅子の頭を麒麟に変えたのは、光仲が曾祖父・徳川家康のような立派な政治を行うことの決意表明であり、自身が家康の曾孫であることを知らしめるためだったと考えられています。獅子のあやし役の狸々(ねずま)は、能の「狸々」に登場する中国の想像上の動物で、能を愛好した光仲が能からヒントを得て取り入れたものと考えられています。

以来、東照宮の祭礼には必ず麒麟獅子舞を登場させ、その獅子舞を指揮・監督する「獅子庄屋」を任命していますが、こうした藩の姿勢から、因幡一円および但馬地方、そして鳥取からの移住者が多かった北海道の釧路市や利尻町などにも麒麟獅子舞が広がることとなったと考えられ、現在では休止分も含めると約180の伝承が確認されています。

平成21年3月には「因幡の麒麟獅子舞」および「但馬の麒麟獅子舞」全体が、国の記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財に選択されました。



# 麒麟獅子



一角霊獣・麒麟獅子と  
狸々が織り成す芸能

麒麟獅子舞は霊獣・麒麟をかたどった獅子頭を被り、胴幕に大人二人が入って舞う二人立ちの獅子舞で、多くは一頭で舞われ、地を這うようにゆっくり頭を回したり、ひねったり、伸び上がるような動作が特徴的です。

麒麟獅子舞の頭は面長で、額に角、直立した両耳を持ち、ねむり獅子の異名があるようにまなこを閉じており、鼻の穴は天上に大きく開き、どことなくユーモラスな表情となっています。

## 祭礼の時期と場所

多くは、神社の祭礼において、本舞(長いものは45分前後)を神社や地区内で舞い、氏子の家々を門付けしてまわった後、神前で本舞を奉納し例祭を終えます(地区の辻や、特定の御神場で本舞を行う地区、前日の夜に神前で神事や舞を奉納する宮宮がある地区など、様式は様々です)。

1月、3月、4月から7月、9月、10月とはほぼ一年を通して、各地で様々な麒麟獅子舞を見ることができ、祭りでは、獅子に頭を噛んでもらう習慣が根付いており、子どもは元気で賢い子になり、大人は1年間無病息災を過ごせると言い伝えられています。

また、獅子舞には天狗等の獅子のあやし役が付きませんが、麒麟獅子舞は、赤い面・衣装・髪「狸々」がつくのが特徴で、長さ1.5mほどの赤い棒を持ち、麒麟獅子を先導したり、緩やかな動きで舞ったりします。

【お問合せ】

鳥取市企画推進部文化交流課  
TEL : 0857-20-3226 E-mail : bunka@city.tottori.lg.jp  
ホームページ <http://www.city.tottori.lg.jp> 2019.1 制作

【企画協力・写真提供】

キノロジークラブ  
鳥取県教育委員会  
(一社)鳥取・日光400年プロジェクト  
(一社)麒麟のまち観光局  
因幡麒麟獅子舞の会



麒麟のまち

※各麒麟獅子舞の詳細情報は、平成30年3月、鳥取県教育委員会発行の「因幡の麒麟獅子舞」調査報告書、平成30年11月の当課調査に基づき掲載しています。